

令和6年度 茅ヶ崎市市民参加条例の施行状況の検証

市に届け！ わたしたちの意見の伝え方 ワークショップ

茅ヶ崎市市民自治推進課

市に届け！ わたしたちの意見の伝え方ワークショップ

意見交換に向けた情報提供として

- ・ 市民参加の必要性
- ・ 市民参加条例の制定
- ・ 市民参加の課題



について、ご説明させていただきます。

市民参加の必要性

① 地方分権

→地域のことは、地域の実情に合わせて、**地域が決める**

② 市民ニーズの多様化

→以前はなかった**地域課題の増加**(防災、環境など)

③ 少子高齢社会

→市の財源が少なくなり、**施策の取捨選択**が必要な時代に



市民のニーズを的確にとらえることが大切

市民参加条例の制定

〈目 的〉

市政への市民の意見の反映を推進するため。

- ・「市民の権利」、「市の責務」、「意見の取扱い」などを規定して、市民の皆さまが、市民参加しやすい環境を整える。
- ・アンケートや意見交換会など、市が実施する市民参加の方法を定める。

市民参加条例に関する アンケート・ヒアリング

手法

市民アンケート（無作為抽出）

市民アンケート（WEB）

市民ヒアリング

内容

市民意識の把握及び令和2年度の施行状況の検証によって位置付けた改善施策の取り組みの効果を検証

アンケート紙面上で読み取り切れないニーズや課題を抽出

アンケート・ヒアリングから 抽出された課題①

〈アンケート結果〉

市民参加に参加したことがない市民のうち、「**市民参加を実施していることを知らなかった**」とした割合が**66%**でした。
(R5年度市民参加の方法の実績:73件)

市民参加の方法のPR(パブリックコメント手続の場合)

- ・ 広報ちがさき、市ホームページ
- ・ SNS(X・LINE)、メール配信サービス
- ・ 市内の広報掲示板(146カ所)
- ・ 自治会・関係団体への周知
- ・ デジタルサイネージ(市役所、そよら湘南茅ヶ崎)
- ・ 市内公共施設(公民館、図書館など18施設)

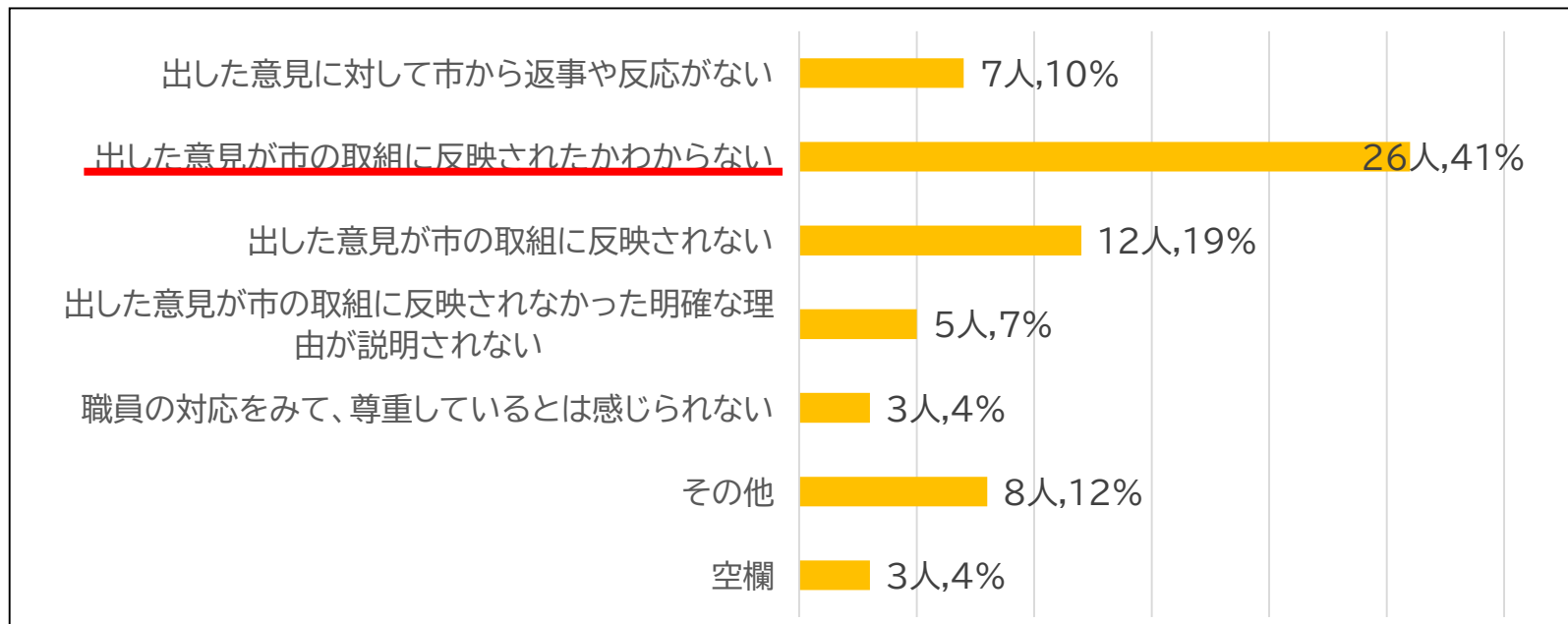


課題① 「市民参加の機会の認知度の向上」が必要

アンケート・ヒアリングから 抽出された課題②

〈アンケート結果〉

市民参加経験のある方について、「市民意見を尊重していると思わない」とした割合が**42%**でした。その理由として最も多かった回答が「**出した意見が市の取組に反映されたかわからない**」でした。



アンケート・ヒアリングから 抽出された課題②

〈アンケート結果〉

また、市民参加することで空欄の割合が減り、意見の尊重について、**より具体的な実感を抱いている**ことがわかりました。

		意見の尊重		
		していると思う	していないと思う	空欄
市民参加 経験の有無	あり	52.0%	42.0%	6.0%
	なし	46.7%	38.6%	14.6%
	空欄	33.3%	26.6%	—



課題② 「市民意見の反映状況の周知」が必要

アンケート・ヒアリングから 抽出された課題まとめ

課題① 市民参加の機会の認知度の向上

課題② 市民意見の反映状況の周知



情報の受け手である、市民の皆さまの意見やアイデアが必要なので、本日のワークショップで意見交換していただきます。

意見の取り扱い

本日いただきましたご意見は、他の市民参加の方法の結果と併せ、**市民参加に関する現状の課題把握と改善施策を検討する上での参考資料**として活用させていただきます。

